

今もいへば一にの儒先生圖書編を珍花あつてに惶窩翁とて傳へる。數回需まじも
借る方が一癡といふ。竟お傍ざわらへん。金澤文庫の藏書印赤いも黒いも形の出る。
混沌未分古くも書ふ乏しに時分は斯惜も空しくれ唐山の虞參政が書不借人といふ傍は
和漢暗合此足利本学校窓外出すことを不許と毎巻小書あり。け本何もあつても。以後後油
て下り。此主小野篁も。何とておあつてあらん。さうも儲も其後二百年來昇平の恩澤お浴し
湯お盤乃銘くに青表紙の端も讀む四角も字と祝くもあつてより。日に新月お盛はして
活字板の迂遠も何廢し。翻刺新鐫牛山汗。四書の類板末書もかりも。近來棟充に堪す
朝鮮本お肥大けれ。紅毛本の細密も。宋板元書の精工完備。家記圖籍の雕校精審。奇
書はもろく。異本のほく。需も小得ざらぬ。け中にも古文孝經お知不足齋の肝と潰
る。七經孟子に芥子坊まれ目と寤させ。我が

日本お勤功少く。今珍書唐少もある。文華中ち開後。天神七代自身お考
目に諸の書と見も心頃日の流行と想も。天明年中お洒落も等く。きらよ人のらよん
ぎも。隨筆お思意按ぬ。誤説乃牽合傳會。やまに竝り引書目も。マヤとぞうせう
考證精密。お考は交易肇つてより。好事家諸國お殖り。皆是書林の潤澤おひや
仍も。緋板を精製し。價を廉小獻らへ。明題二八拾六文。十九文選三墳五典。價安も
求易し。讀易も。解易も。早學問の當世様。以呂波も。賞まじ。諸子百家お書つたり。紀記
萬葉お意を明らむ。酒飲い。幫間も。一椀可吃と。まぐり。酌取も。婢女も。さうお何
よへん。諸のふこうべう。字向の繁昌。物お本屋が幸福も。此。大御代も。お書つたり。さ
鎗持鎗をけり。書物屋も。物と流す。腹小万巻お外題と暗記。胸小一字の
文事。はら。唐本。和本。ち。や。或。和漢。諸法。帖。或。書畫。軸。古文。書類。
片楮半葉といへも。希世の物と竅も。最愛玩も。餘も。守漏も。賣買も。
世界におゆる入ぐ。皆識者も。今。書林お陰徳お経る。其陰徳お陽報
あり。新小并く書物屋も。何品に拘らば。多かをい。御用向も。ま。か。ま。
藤屋お許。願を賜。れ。あ。か。本。丁。茶。江。小。居。お。と。
普く諸國へ告も。あ。

應需 式亭三馬 欽曰

書店藤屋廣告 文庫10-8020-1

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

